

(様式第1号)

平成25年度第3回 芦屋市総合公園指定管理者選定委員会 会議録

日 時	平成25年10月26日(土) 13:00~17:00
場 所	北館2階第3会議室
出席者	委員長 朝沼 晃 副委員長 斉藤庸平 委 員 遠藤尚秀 委 員 高原利栄子 委 員 藤本真里 事務局 宮崎技監 北田都市建設部長 米原企画部長 宮崎行政経営課長 柘田公園緑地課長
会議の公開	<input type="checkbox"/> 非公開 <input checked="" type="checkbox"/> 一部公開 会議の冒頭に諮り、開会時出席者4人中4人の賛成多数により決定した。 [芦屋市情報公開条例第19条の規定により非公開・一部公開は出席者の3分の2以上の賛成が必要] <一部公開とした場合の理由> 応募者の財務状況など、企業秘密にあたる情報を用いての審査となるため、原則非公開としたもの。
傍聴者数	0人

1 会議次第

(1) 開会

(2) 資料説明

- ① 芦屋市総合公園指定管理者選定委員会会議要旨(第2回)
- ② 芦屋市総合公園指定管理者審査要領
- ③ 芦屋市総合公園指定管理者選定基準
- ④ 芦屋市総合公園指定管理者応募申請内容一覧表
- ⑤ 第二次審査採点表
- ⑥ 芦屋市総合公園指定管理者の候補者の選定について(答申)(書式)

(3) 議事

- ① 面接審査
- ② 指定管理者候補者選定
- ③ その他

## 2 会議の成立

委員定数 5 人中 4 人の委員が出席（開会時，審議開始時には 5 人出席）しており，芦屋市指定管理者選定委員会規則第 3 条第 2 項により会議は成立した。

## 3 審議内容

面接審査について

(朝沼委員長)：面接手続き及び進行について事務局より説明をしてください。

(事務局榊田)：本日の 3 法人の面接について，でございますが，

1 番目のあしやパークスが，午後 1 時 15 分開始，2 番目のミズノ・芦屋市体育協会・理研グリーン共同体が，午後 1 時 50 分開始，3 番目の団体 C が，午後 2 時 25 分開始でお願いします。

プレゼンテーション 15 分，質疑 15 分とし，終了の 1 分前に合図をしますので，よろしくをお願いします。質疑の時間については，入替の 5 分程度余裕がありますので，その時間内をお願いします。

(朝沼委員長)：次に，採点及び候補者の決定について事務局から説明をお願いします。

(事務局榊田)：まず，仮採点表をお渡ししますので，面接の祭にお使いいただき，本採点表には面接終了時にご記入いただいて，事務局で集計いたします。合計得点の最高点数のものを第一候補とし，2 番目のものを次点候補とします，なお，基準点は 700 点以上とさせていただきます。

次に，同点の場合の取扱ですが，採点の最高点と最低点を除外して，残り 3 人の委員の合計点が高いほうを採用するということになりました。

また，集計結果を元に応募者について参考意見として簡潔な講評をお願いします。

それでは，以降の進行については，委員長をお願いします。

(朝沼委員長)：それでは，面接審査を始めます。1 番目の団体 A に入室してもらってください。

### 〈あしやパークスプレゼンテーション〉

質疑

(藤本委員)：植栽，ガーデンプロジェクトに対し，予算的にも多くかけているが，内容について具体的に説明してください。また，前回 3 年間の実績の中でエリアマネージとして成功した例や，利益の再配分というのは大きな提案であったと思うが，実績を紹介してほしい。

(あしやパークス)：植栽，ガーデンプロジェクトについては，以前に比べ植栽・芝生が荒れている印象を受けているので，1 年目は特に植栽・芝生に力を入れていきたいと考えている。利用者も 5 年前に比べ減っている。5 年間かけて公

園利用者が増えれば利用料金収入が増えるため、収益が上がった場合は、公園運営に補っていききたい。

エリアマネージメントとしての実績としては、南芦屋浜地区は庭土がわるく、「出前緑化相談」を行ない、土壌改良についてアドバイスをした。緑の相談所を都市緑化植物園のように情報発信をしていきたい。

(遠藤委員)：管理運営費を見ると植栽管理にかなりのコストをかけている。市民をまきこんだかたちでの公園づくりとういことで、住民ボランティアとの市民協働によってコストが下がるような方策はないか。また、事務局費の具体的な項目を教えてください。

(あしやパークス)：公園は協働の場と考えており、事業計画書には様々な取組みを提案している。最も大きなものとして、管理運営協議会があり、今回はその下に様々な参加の場を設けて、市民ボランティアにはメンテナンスではなく、イベントを楽しんでもらう立場で参画してもらいたいと考えている。

事務局費の項目は、消耗品費、印刷製本費や車両費等です。

市民を巻き込んだコストダウンについてですが、常駐のスタッフに加え、パートタイムスタッフやあしやパークス・フレンズといった位置づけの有償ボランティアとして運営に関わっていただくことでコストダウンを図ります。

(遠藤委員)：管理体制に表記されている「あしやパークス・フレンズ」とはどのようなものか。清掃だけでなく、植栽を植えたりなどについてもイメージしているのか。

(あしやパークス)：さまざまな形で関わっていただきたいと考えている。

(遠藤委員)：リース代がありますが、何をリースするのか。

(あしやパークス)：パソコンやコピー機などの事務機です。

(斉藤副委員長)：災害時の緊急時対応には、何が一番大切なポイントと考えますか。

(あしやパークス)：事故の場合は、現場の保存から各関係機関への連絡と考えます。

前回と違う点は、津波の問題がある。最大5mの津波の想定となっており、4mの総合公園から43号線以北までどのように非難させるのか、防災当局と協議が必要な課題が残っていると考えます。

(朝沼委員長)：他の団体と比べ、清掃植栽費の金額が高いが、清掃等について外注するということですか。

(あしやパークス)：人件費は、事務所常駐者分です。清掃植栽管理費は、グループ会社等へ発注します。

(朝沼委員長)：スポーツ関連の自主事や市民参画の取組みが少ないようですが。

(あしやパークス)：利用が少ないなら、その面での提案をするが、ビーチではイベント等の騒音問題が起こっているとも聞いている。現状をふまえて取り組んで

いきたい。陸上競技場については、フィールドの使用に制限があるため、状況を見極めていきたい。

(遠藤委員)：安全対策については、どこがイニシアチブをとるのか。

(あしやパークス)：基本的には、奥アンツーカがイニシアチブをとります。

(斉藤副委員長)：ビーチの支出が抑えられているように思うが。

(あしやパークス)：2つの施設であるので、便宜上人件費を分けている。実際には、一元的に管理するので、特に支出を抑えていることはない。

(朝沼委員長)：他に質問はありませんか。それではこれで終わります。ありがとうございました。

### 〈ミズノ・芦屋市体育協会・理研グリーン共同体プレゼンテーション〉

#### 質疑

(遠藤委員)：園地管理に理研グリーン以外の名称があがっているが、理研グリーンと梅田緑地開発とのすみわけを教えてほしい。また、市民が参画する方策があれば教えてほしい。

(共同体)：理研グリーンが芝生管理を担当し、梅田緑地開発が樹木管理を担当します。大きな機械を使うものは、業者対応。市民参画については、PMOとの連携を図り、引き続きボランティア協力を求める。競技場以外の芝については、芝生化実行委員会と連携して維持管理していく。

(藤本委員)：運営に当たって、トラブルや課題が起こったときの調整や事前事後のフォローや準備など、どこが担当することになるのか。傷んでいる芝生を再生させる場合、示している予算で改善するのに十分なのか。また、リスクマネジメント委員会によるバックアップ体制が芦屋にとってどのようなメリットがあるのか。

(共同体)：全てのコーディネートはミズノが行なう。地元とのやり取りは芦屋市体育協会が担う。

(藤本委員)：体育協会が現場のコーディネートを担うのか。

(共同体)：そうです。芝生の再生については、県の補助金を活用しながら取り組んでいきたい。リスクマネジメント委員会は、ミズノの大阪本社に指定管理専門の委員会が発足している。法務やクレーム処理など様々な事例についてデータベース化しており、未然の対処が第一だが、問題が起こった場合もデータをもとに対処できる。

現場とはどのような交流があるのか。

データベースは現場で常に見ることができ、随時委員会から現場に出向く。

(斉藤副委員長)：災害時に対応するミズノ防災センターも同じようなものか。

- (共同体)：防災センターは常に連絡が取れるところとなっている。
- (斉藤副委員長)：緊急連絡体制ということですね。
- (共同体)：そうです。
- (遠藤委員)：自主事業の収入が他団体と比べて多くなっているが、どのようなものか。
- (共同体)：民間企業であるので、もうけないといけないと使命思うところがある。儲かる施設と儲からない施設がある。屋内施設は事業をすれば利益があがる、屋外施設は、儲けるのが難しい。本案件については、公園であり、儲けるような施設とは思っていない。研修については、本部で力をいれており、経費がかかってしまう。
- (朝沼委員長)：総合公園の近くに施設があり、体育協会は地元であります。以前と比べてよくなっている点、問題となっている点等について教えてください。
- (共同体)：近隣の住民に対してどう対応していくかを重視している。駐車場待ちの車両が道路に並んだり、花火やイベント時の騒音など、周辺に影響を与えており、巡回を徹底して行いたい。また、天然芝の管理のため、使用制限があるが、芝の育成だけでなく、できるだけ活用できるように利用する側の立場に立って利用してもらいやすいようにしたい。ビオトープについては、現在少し鬱蒼としているので、近づきやすくなるよう、手を入れていきたい。
- (藤本委員)：人員配置について具体的にお願いします。
- (共同体)：人員配置については、統括責任者はミズノから、運営管理責任者は芦屋市体育協会、維持管理は理研グリーンから配置する。
- (朝沼委員長)：他に質問はありませんか。それではこれで終わります。ありがとうございました。

## 〈Aプレゼンテーション〉

### 質疑

- (遠藤委員)：管理運営費について。人件費が現状よりも上がっている理由は何か。
- (A)：これまでの体制に加え、パークコーディネーター及びスポーツコーディネーターを新たに配置した分アップしている。
- (藤本委員)：パークコーディネーターには、どのような人材を採用するのか。また、協働の推進について、PMOあしやをはじめとする団体や近隣住民とのつながりなど、既存の蓄積の活用方法について教えてほしい。
- (A)：パークコーディネーターを中心に考えている。PMOあしやと協力して運営していく。隣接する街ができてつつある状態であるため、まだボランティア

として集まるような段階に至っていない。新規開拓が課題。パークコー  
ディネーターは、布引ハーブ園での実績を有する者を予定しています。

(朝沼委員長)：緑地の駐車場が広がっているようだが？

利用者から見れば、どんどん浜に広がっているように見える。

(A)：指定管理者として管理を始めた5年前には既に園路を一部潰して駐車場となっ  
ていたのでは、経緯はわからない。近隣からの苦情により、東エリアのバ  
ーベキュースペースを西側に移設した跡地部分について、シーズン中駐  
車場が満車になった場合の臨時分として仮設駐車場としています。

(朝沼委員長)：北側の駐車場への誘導はしていないのか。

(A)：誘導はしているが、すべてが動いてもらっているわけではない。

(遠藤委員)：現指定管理者として安全面でやり残したこと、具体的な課題及び次期に  
強化したいことは何ですか。

(A)：スタッフ6名で事務と現場を実施している状態であるため、駐車場のカメラが  
非常に有効です。広い公園のため、迅速な情報入手が難しいが、より早  
く状況を把握できるようにすることが課題です。

(朝沼委員長)：緑地の芝生が傷んでいるようですが、どのように考えていますか。

(A)：景観は大切だと思うので、順番に改善していきたい。

(朝沼委員長)：ありがとうございました。これでプレゼンテーションを終わります。

〈採点，集計〉

〈採点集計表配付〉

(事務局柘田)：採点結果を集計したところ、基準点の700点以上となった3団体の  
うち、1位が766点でミズノ・芦屋市体育協会・理研グリーン共同  
体、2位が760点であしやパークス、3位が739点でAです。

(朝沼委員長)：採点結果より、第一候補者としてミズノ・芦屋市体育協会・理研グリー  
ン共同体を選定し、次点候補者としてあしやパークスを選定してよ  
ろしいですね。

〈各委員異議なし〉

〈委員署名〉

[結論]

芦屋市総合公園指定管理者の候補者をミズノ・芦屋市体育協会・理研グリーン共同体  
とする。

次点候補者をあしやパークスとする。